

## はしがき

本報告が対象とする国土交通省版・景観シミュレーション・システムは、平成5～8年度に、建設省総合技術開発プロジェクト「美しい景観の創造技術の開発」の一環として、建設省建築研究所・土木研究所の共同により基本的な部分が開発され、建設省がライセンスを有するオープン・ソースのフリーウェアとして公開・配布されてきました。その後の各種現場への適用に加え官民共同研究、国際共同研究等を通じて改良を加えられてきました。平成13年に国土技術政策総合研究所が設立されました後は、主として高度情報化研究センターと、環境研究部により更に改良が加えられ、立体視、ネットワーク配信、GIS連携などの機能が付け加えられてきました。しかしながら、これらの過程で多くの枝分かれバージョンが形成され、言語別・機能別に異なる実行形式(.exe)を使い分けるような状態となっていました。

平成21年度に、住宅情報システム研究官が、従来の各種枝分かれバージョンを整理・調整した上で、土木・建築・都市・住宅等の各分野に共通する機能を統合した基幹部分と、分野別の専門的機能を選択的に追加するプラグインから構成するアーキテクチャに統一し、更に言語に依存するプログラムを全て外部テキストに分離し、同一の実行形式を用いて様々な言語で使用できる Ver.2.09 としてとりまとめました。この統合バージョンにおいては、バージョンの枝分かれを生じることなしに、新たな機能を基幹部分とは独立したプラグインの形で柔軟に付け加えることが可能となっています。

本資料は、今後オープン・ソースに対してシステムの改良を行い、あるいはソースコードの一部を活用して別システムに機能の移植を行おうとするプログラマを主な対象として、この Ver.2.09 に至る開発過程を報告すると共に、その全体構成を解説し、添付の CD-ROM に全ソースコードを収録したものです。

なお、この報告が対象とするシステムは、サーバー機能を含む、まちづくり・コミュニケーション・システムの一部を成す、クライアント側の PC 上で動作する部分です。

国土交通省国土技術政策総合研究所